

# ちばの川と海



千葉県マスコットキャラクター  
「チーバくん」

# 災害から守るために

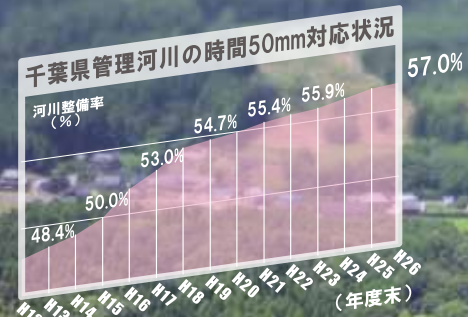
かつてから人々は、自然を利用し、その恵みの中で生きてきました。しかし、ときに自然は厳しく、どれほど技術が進歩しても、自然の脅威に備える営みが、尽きることはありません。私たちは、災害に強い県土を目指して、今日も整備を進めています。



治水対策

# 時間50ミリ降雨への挑戦

河川の氾濫による被害を防ぐため、1時間に50mmを含む、総雨量200～250mm程度の雨でもあふれない河川整備を進めています。



※気象庁によると、時間50ミリ以上の雨では、「滝のように降る」あるいは「傘は全く役に立たなくなる」とされています。

作田川(山武市・日向駅付近)  
河川改修事業で、川幅を広げている様子

## 情報が生死を分けることがある

局地的大雨などによる突然の災害に、適切に対応するためには、事前の備えと、正確な情報の収集が重要です。まずは、各市町村から出されている**ハザードマップ**を入手し、自宅や職場など普段よく利用する場所に潜むリスクをあらかじめ知ることが有効です。また、県では河川の水位や気象警報の発令状況等の情報を、「**千葉県防災ポータルサイト**」でリアルタイムに提供しています。

### 千葉県防災ポータルサイト

<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/>

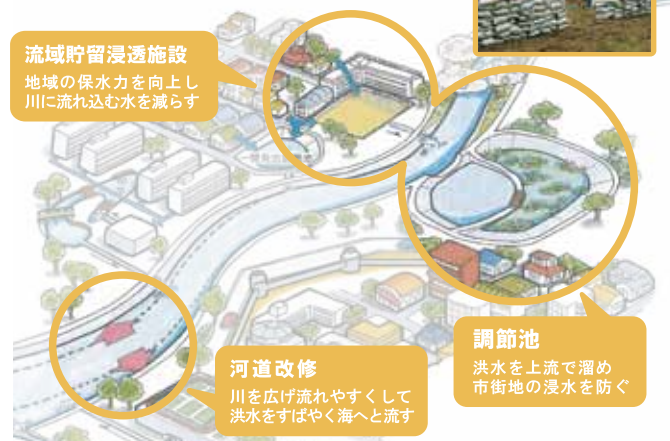


ガラケーからはテキスト版のサイトが便利。QRコードからGO！  
<https://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/mobile/index.jsp>



## 総力戦で洪水を防ぐ

洪水による被害を効率よく防ぐためには、「**河道改修**」だけでなく「**調節池**」や「**流域貯留浸透施設**」の整備など、流域一丸となった対策が必要です。また、洪水が迫ったときには、応急的に土のうを積むなどして水害を防ぐ「**水防活動**」も重要な役割を果たします。私たちは、これらを組み合わせ、いわば総力戦で洪水を防ぐ取り組みを進めています。



**流域貯留浸透施設**  
地域の保水力を向上し川に流れ込む水を減らす

水防活動(訓練)



**河道改修**  
川を広げ流れやすくして洪水をすばやく海へと流す

**調節池**  
洪水を上流で溜め市街地の浸水を防ぐ

# 津波高潮対策

私たちの先祖は、自然から恩恵を受け、時に脅かされながらも、困難をひとつずつ乗り越え、この地で生きてきました。私たちは、その志を引き継ぎ、津波という新たなリスクにも百年先を見据えて整備を進めていきます。

千葉県における東日本大震災での津波被害

最大津波高	7.6 m(旭市)
死者	14 名
浸水面積	23.7 km <sup>2</sup>
浸水家屋	885 棟

出展：東日本大震災の記録(千葉県)

旭市沿岸を襲う東日本大震災の津波  
ドーム状の建物は「かんぼの宿 旭」  
海上自衛隊 館山航空基地提供

## 施設整備の目標

数十年から百数十年に一度の津波に対しては、人命や財産を保護し、地域の経済活動が混乱することのないよう、**堤防等によりこれを防ぎます。**

## 最大クラスの津波

発生頻度はきわめて低いものの、甚大な被害をもたらす最大級の津波に対しては、住民の生命を守ることを最優先とし、「**住民避難**」を軸に、土地利用、防災施設などを組み合わせた「**総合的な津波対策**」により対応します。

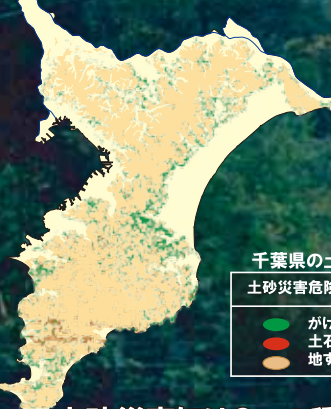
## 揺れたら逃げる

津波は襲ってくるまでその高さはわかりません。大きなゆれを感じたら、**少しでも早く、少しでも高いところに逃げる**ことが津波避難の大原則です。

## 土砂災害対策

# 身近に潜む災害

県内には9,764箇所もの土砂災害危険箇所があり、大雨や地震時には土砂災害の危険性が高まります。土砂災害は、ある日突然発生し、時に人の命を奪う恐ろしい災害です。住民は自分の土地を良く知り、日ごろの備えや早目の避難を心がけましょう。



千葉県の土砂災害危険箇所

土砂災害危険箇所	9,764箇所
がけ崩れ	9,071箇所
土石流	641箇所
地すべり	52箇所

### 土砂災害には3つの種類がある



急傾斜地崩壊危険区域 岩井袋(鎌南町)  
巨大な岩が崩れ落ち、一部が家屋に流れ込み被害を与えた

# 未来へ引き継ぐために

美しい水辺は、人々の心を癒し、様々な恵みを与えてくれます。私たちは、それを大切に使い、次の世代に豊かな自然を継承しなくてはなりません。そのために、持続的に発展できる地域社会の実現に向けた取組みを進めます。

# 河川環境・維持管理

## まちや暮らしの中の河川



### 水辺整備・まちづくり

#### くかわ×まち

河川は、街なかの貴重なオープンスペース、自然環境・歴史・文化が残る場所、レジャースポットでもあります。

そこで、皆が気持ちよく使えるようルールを守りながら、河川をもっと使おう、もっと楽しもうという動きが全国的に始まっています。

地域のまちづくりやイベントと連携しつつ、河川の利活用を促進するハード整備などに取り組んでいます。



かつて日本一活かった手賀沼は、ヘドロの浚渫や利根川の水を導水したことで格段にきれいになり、今ではトライアスロン大会が開かれています。



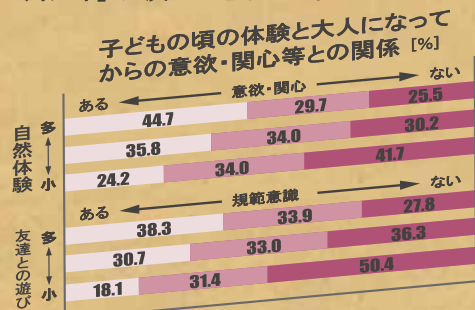
出展 MIZBERINGフリーペーパー



### 環境学習

#### 遊ぶ学ぶ

河川は、最も身近にある自然環境であり、かつては「川ガキ」と呼ばれる子どもたちが遊びながら色々なことを学んでいました。坂川では、河川環境が改善されたことにより「川ガキ」が戻ってきました。



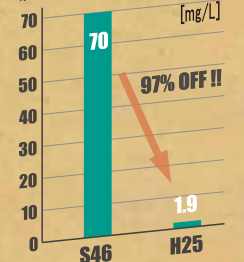
子どもの頃の自然体験が、その後の意欲や関心に良い影響を与えるといわれています。(国立青少年教育振興機構H22報告書より)

### 水質改善

#### 水をきれいにする

高度経済成長期以降に、都市化の影響などにより河川や湖沼の水質が悪化しましたが、下水道整備などの関連事業と連携しながら、水質改善が進んでいます。

坂川の水質(年平均BOD)



坂川では、北千葉導水(国)や浄化施設、下水道の整備、各家庭での排水対策などの連携により大幅に水質が改善されました。

### 維持管理・長寿命化

#### 長く大切に使う

今ある河川管理施設を、これからも長く使っていくためには、日常的な点検や維持管理が不可欠です。

特に、老朽化が著しい排水機場や水門については、長寿命化計画を策定し計画的な補修を行っています。

また、アダプトプログラムを活用し、地域の方々と協働した河川の維持管理及び環境保全を行っています。

#### 日常的な点検・管理

河川海岸のパトロールや日常的な管理により施設の安全を保ちます

#### 河川管理施設の長寿命化

老朽化した施設の信頼性を確保しながら、ライフサイクルコスト※の削減を図ります

#### 地域住民とのパートナーシップ

アダプトプログラムを活用し、住民と協働した河川の維持管理を進めます

#### 施設の長寿命化

長寿命化計画に基づき、施設を計画的に点検・補修することで、機能を維持したまま、補修に係るコストを縮減します。



#### アダプトプログラム

県が管理する河川や海岸で行われる、ゴミ拾いや草刈などのボランティア活動を、県が支援する制度です。

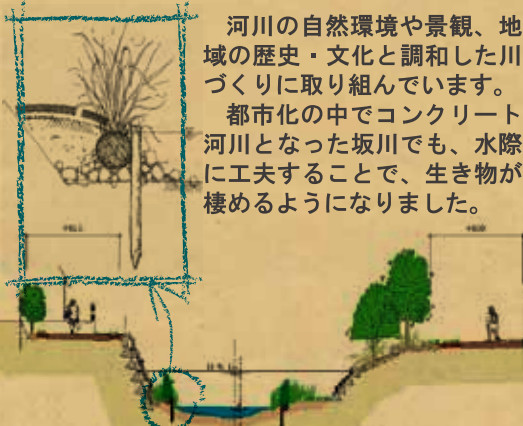


### 自然再生

#### 環境と調和する

河川の自然環境や景観、地域の歴史・文化と調和した川づくりに取り組んでいます。

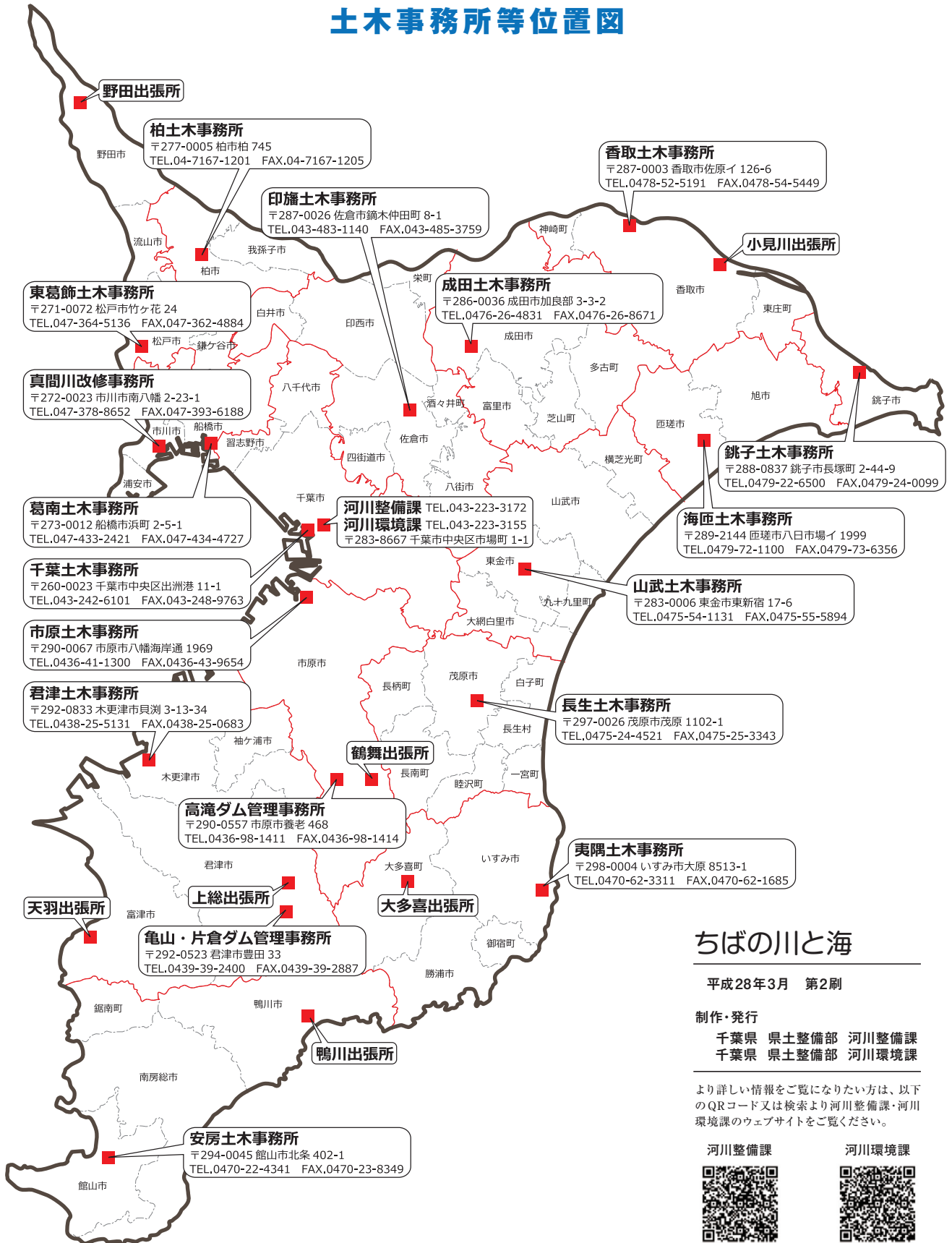
都市化の中でコンクリート河川となった坂川でも、水際に工夫することで、生き物が棲めるようになりました。



坂川では、水際に小さいマウンドを設置し、それを基盤として植生環境を再生しました。

※ 整備及び維持管理を含めたトータル費用

# 土木事務所等位置図



## ちばの川と海

平成28年3月 第2刷

制作・発行

千葉県 県土整備部 河川整備課  
千葉県 県土整備部 河川環境課

より詳しい情報をご覧になりたい方は、以下のQRコード又は検索より河川整備課・河川環境課のウェブサイトをご覧ください。

河川整備課



河川環境課



<http://www.pref.chiba.lg.jp/kasei/>

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/>

千葉県庁 河川

検索